



World Vision

この子を救う。未来を救う。



エチオピア連邦民主共和国 ゴンチャ地域開発プログラムのご紹介 (ETH-221087)

チャイルド・スポンサーシップは、1人の子どものみならず、直接お金やモノを提供するプログラムではありません。支援地域の子もたちが健やかに成長するための環境を整え、人々が“未来を切り拓く力”を得られるようにする、長期的な支援活動です。チャイルドが住む地域とその課題、現地でワールド・ビジョンが実施している活動についてご紹介します。

地域の課題



支援地域の一般的な住居



水たまりで水をくむ子どもたち



水衛生

安全な飲料水を得られない世帯 **77.5%***

子どもの下痢発症率 **67%***



子どもの保護

5～14歳の子どものうち、労働に従事する割合 **87%***

出生登録のない5歳未満の子どもの割合 **72%***

20～24歳の女性のうち、幼くして(18歳以下)で結婚した割合 **78%***

*2021年時点

国情報

エチオピア連邦民主共和国

アフリカの北東部に位置する内陸国。イタリア領となった1936年からの5年間を除いて植民地化されることなく、独立を保ってきました。アムハラ族、オロモ族など約80の民族が暮らし、公用語はアムハラ語。宗教はキリスト教とイスラム教が主流です。教育制度は、就学前教育（2年）、初等教育（8年）、中等教育（4年）、高等教育（2年～）で、義務教育は初等教育の8年間です。主産業は農業ですが、慢性的に食料が不足しています。

首都：アディスアベバ

ゴンチャ地域開発プログラム

地域情報

ゴンチャ 地域開発プログラム

支援期間：2022年～2023年

*支援期間はプログラム準備期間を含みます。支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

首都のアディスアベバから北西へ約377kmの場所に位置するアムハラ州東ゴッジャム県ゴンチャ・シソ・エネセ郡にて、ゴンチャ地域開発プログラムを実施します。支援地域は、アムハラ州の州都バハルダールから約3時間、標高2,400m以上の高地にあります。住民の多くは農業や牧畜で生計を立てていますが、干ばつや害虫などの被害を受けやすく、食料不足と子どもの栄養不良が深刻です。森林伐採や過放牧による土壌の劣化や流出も農畜産業に悪影響を与えているため、環境に配慮した地域開発を進める必要があります。水不足や安全な水にアクセスしづらいことも深刻な課題です。

地域の課題



水衛生

安全な水源の確保やトイレの整備が遅れており、衛生についての知識も不足しているため、下痢や肺炎などの予防できる病気で命を落とす子どもが後を絶ちません。毎日長い時間をかけて水くみをしなければならないことも、子どもたちの大きな負担となっています。



子どもの保護

子どもの権利と保護に関する認識が低く、児童労働や、子どもに対する身体的・心理的・性的暴力などの問題が報告されています。児童婚の慣習は今も根強く残っており、特に女の子の早すぎる妊娠・出産は、母子の健康に深刻な影響を与えるため、早期改善が必要です。

WVが行う支援活動

- 井戸などの水供給システムの整備
- 学校や保健施設におけるトイレの建設
- 屋外排泄のリスクに関する周知
- 手洗い習慣の啓発
- 給水施設を管理する水管理委員会の設置と研修



給水所で水をくむ女の子

- 子どもの出生登録に関する啓発
- 子どもの権利・保護や児童労働と児童婚撤廃に関する啓発
- 地域の子ども保護委員会の機能強化
- 子どもクラブや青少年クラブの設置



早婚の有害性と、教育の大切さについて話し合う少女たち

支援はチャイルドの生活を変える力となります



12歳のベカルくんは、両親ときょうだいと一緒に住んでいます。一家は地域の中でも特に貧しく、ベカルくんは水くみ、薪拾い、薪割りなどの家事を手伝っています。家計が苦しい月には建設現場で働いたり、牛追いの仕事をすることもあります。

「うちの手伝いをしないといけないので、ぼくはみんなと一緒に学校に行くことができません。『ベカルのうちは貧乏だ』と学校の友達にいじめられて、とても悲しくなるけれど、ぼく以外にも大変な子はたくさんいます」

地域には貧しさゆえに働かざるをえず、児童婚を迫られる子、学校の勉強についていけずに学校をやめてしまう子が多くいます。ワールド・ビジョンは、ベカルくんのような子どもたちが希望を持って成長できるよう、支援活動を行っています。

マイ ワールド・ビジョンに登録しませんか？

登録（アカウント作成）後ログインしていただくと、チャイルドと支援地域の写真や情報がご覧いただけます。ホームページトップの「**支援者の皆さまへ**」に進み、「**アカウント作成**」のボタンから、手続きをしていただけます。

また、右のQRコードからメールアドレスをご登録いただければ、チャイルドや支援地域からの最新動画、イベント情報などもお届けします。



公式SNSでは、世界の子どもたちをとりまく情報を発信しています。
ぜひ「いいね！」や「シェア」をして、お友だちにご紹介ください。

 **FACEBOOK**
@worldvisionjapan

 **Instagram**
@worldvisionjapan

 **Twitter**
@WorldVisionJPN